

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度 12 月 補正 予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 **新** 観光誘客拡大緊急対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号:058-272-1111 (内 3075)

E-mail: c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 50,000 千円 (現計予算額: 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	50,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000
決 定 額	50,000	50,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

長引く、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内の観光産業は、これまで経験したことのない厳しい状況におかれている。県では県民を対象とした「ほっと一息、ぎふの旅」キャンペーンによる需要喚起等に取り組んでいるが、コロナ前の状態には程遠く、さらなる支援が必要な状況である。

このような状況を踏まえ、地域のニーズに合わせた需要喚起のため、地域の誘客に対する取組みに対する支援を、(一社)岐阜県観光連盟を通じて実施する。

(2) 事業内容

- ・観光誘客拡大プロモーション等支援事業 (50,000 千円)
地域の観光協会等が各地域の露出拡大を目指して実施する誘客プロモーション

ョンやPR等を支援する

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域の国内誘客事業のため県負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	50,000	観光誘客拡大プロモーション等支援事業
合計	50,000	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

R2年度 GoToトラベル事業を実施。他県も上乗せ補助等を実施。

R3年度 地域観光事業支援を実施。他県も同補助による宿泊割引を実施。

R4年度 他県も対応を検討中

(3) 後年度の財政負担

緊急的なコロナ対策であることから、後年度の財政負担はない。

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県内における観光事業の健全な発展と振興を担う県広域で活動する唯一の団体である岐阜県観光連盟が実施主体となって実施する事業

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	観光誘客拡大緊急対策事業費補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県観光連盟 （理由）岐阜県内における観光事業の健全な発展と振興を担う県広域で活動する唯一の団体である
補助事業の概要	（目的）岐阜県観光連盟等が実施する宿泊割引及び商品造成を支援する。 （内容）地域の観光協会等が各地域の露出拡大を目指して実施する誘客プロモーションやPR等の取組みの支援
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） （内容）定率 10/10 （理由）岐阜県全域の国内誘客の事業のため県負担
補助効果	岐阜県観光消費額の増大
終期の設定	終期 令和4年度（理由）緊急的なコロナ対策事業

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 新型コロナウイルスにより落ち込んだ観光産業の速やかな回復を図る。</p>
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30年度末)	目標 (R1年度末)	目標 (R7年度末)
① 観光入込客数	4,603万人	4,800万人	4,900万人
② 観光消費額	2,822億円	2,933億円	3,300億円

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R4年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 50,000千円
指標①目標					4,900万人
指標①実績				(推計値)	(推計値)
指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

「コロナ禍における観光誘客推進事業費補助金」により、観光連盟を通じて地域の誘客プロモーションを支援し、幅広い情報発信を行った。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
特になし

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）
○：必要性が高い △：必要性が低い

(評価) コロナ禍における緊急的な事業
○

・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）
○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている
△：まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価) 地域のニーズに沿った支援を実施している
○

・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）
○：効率化は図られている △：向上の余地がある

(評価) 観光連盟を通じて地域の観光協会へ広く周知している
○

(事業の見直し検討)

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止
(理由)
新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、継続支援も視野に検討